

東城砦(東条砦)(特無)(上越市大豆 334)(春日山城跡ものがたり館)

越後長尾氏の居城である春日山城は周辺の峰々などに支砦を築いて防御を固めていた。東城砦もそのひとつで春日山城の東側の守りを担った砦である。築城年代は不明だが、おそらく室町時代から戦国時代にかけて長尾氏が築いたものだろう。

慶長3年(1598)に上杉景勝が会津若松へ移封されると、新たに春日山城主となった堀秀治の家老堀直政がこの砦を整備した。今も残る水堀は直政の通称にちなみ監物堀と呼ばれている。

「城郭図鑑」による



平成版・春日山城絵図

